

ているから参照されたい。

## 館所長ニューヨークにおける国際会議に出席および合衆国統計局ならびに人口動態統計局を視察

人口問題研究所長館 稔博士は、1960年10月13日から同19日まで、ニューヨークの Carnegie Endowment International Centre で開催された Milbank Memorial Fund および Population Council 共催の“家族計画の調査研究に関する国際会議”(Conference on Research in Family Planning) に出席した。日本からは他に4名の参加者があつたが、登録参加者総数は68名で、世界の著名な人口学者が多数参会した。館所長は会議後、1960年センサスの集計過程の視察のため、合衆国統計局を訪問、更に同人口動態統計局を訪問して10月27日帰国した。今回の会議の概況報告は本誌次号に掲載の予定である。

## 定例研究報告会

本誌第80号本欄記載以後の定例研究報告会の報告題名および報告者は以下のとおりである。

<回>	<年月日>	<報 告 題 名>	<報 告 者>
12	昭35. 8. 3	家族の続柄別に見た兼業の実態と移動状況 —岡山県児島郡興除村農家実態調査報告—	林・井上両技官
13	昭35. 8. 10	企業体における受胎調節の実行効果について(第2回)	吉木・三浦両技官
14	昭35. 8. 17	国連都市調査団の首都圏調査について	上田・浜両技官
	”	経営階層、所得階級ならびに職業別にみた戦後農村出生力の低下形態—昭和29年度調査、3カ村の場合—	皆川技官
15	昭35. 8. 24	移動による人口基本構造の変化に関する研究	上田技官
16	昭35. 9. 7	「新しい国の進歩のための科学に関する国際会議」に出席して(帰朝報告)	館所長
17	昭35. 9. 14	四日市市総合開発計画を見る	館所長
18	昭35. 9. 21	資本の分布と労働力の分布	岡崎技官
19	昭35. 9. 28	UNおよびWHO共催「遺伝学および放射能研究のための人口動態統計ならびに疾病統計の利用に関するセミナー」出席報告(第1回)	黒田技官
20	昭35. 10. 5	UNおよびWHO共催「遺伝学および放射能研究のための人口動態統計ならびに疾病統計の利用に関するセミナー」出席報告(第2回)	黒田技官
21	昭35. 10. 12	中南米移住の現状	島村技官
22	昭35. 10. 26	死亡率分析のための1方法について	荻野技官

## 研究資料の刊行

本誌第80号本欄記載以後の刊行研究資料は以下のとおりである。

<No. (発刊年月日)>	<資 料 名>	<執 筆 者>
137 (昭35. 8. 1)	最近の人口に関する統計資料(第3分冊その1)	上田・浜・山口・小山各技官
138 (昭35. 8. 1)	男女年齢別推計人口、昭和30~45年間各年10月1日付 昭和50~90年間毎5年(昭和35・6・1・推計)	上田・浜・河野各技官